

受験教科および受験科目の選び方

- ・志望校の個別試験（2次試験）や一般選抜試験に必要な教科・科目を受験してください。
- ・国立大や共通テスト利用の私立大・短大で個別試験に学科試験を課さない募集単位を志望校にし、かつ2025年度高3生 大学入学共通テスト模試・6月の受験がない場合は、共通テストで必要な試験教科・科目を受験いただくと「共通テスト参考判定」を提供します。詳細はP.7「【共通テスト参考判定】について（記述回のみ）」をご参照ください。（「情報」の出題はないため、「情報」を課す募集単位では「情報」を除いた教科・科目を受験してください。）

教科	科目・コース	科目の選び方	受験可能数	問題冊子の形態	解答解説の形態
国語	現古漢 (論理的文章・小説) 古文、漢文	生徒の志望校などに応じてコースを選択してください。 ★志望校の入試科目が「現代文」のみの場合は、解答した現代文の得点(現古漢コースは100点満点、現古コースは140点満点、現のみコースは200点満点)のみで志望校判定を行います。 ★「漢文」を除く場合は、現代文と古文の合計点で志望校判定を行います。	1	1冊	
	現古 (論理的文章・小説・随筆) 古文				
	現のみ (論理的文章2題・小説・随筆)				
数学	数学X [数学Ⅰ、数学A、数学B、数学C] ■共通テスト対応	生徒の志望校などに応じてコースを選択してください。 ※数学の[]内は選択問題の出題科目を示しています。 ★数学X: 数学Ⅰのみの履修でも受験可能 ・志望校が共通テストでのみ数学を課す(必須、選択にかかわらず)場合 ・志望校が個別試験で数Ⅰ・数A、または数Ⅰのみ、または数Aのみを課す場合 ★数学Y ・志望校が個別試験の出題範囲に、数B(数列)または数C(ベクトル)のいずれかを必須で含むが、数Ⅲは含まない場合 ★数学Z ・志望校が個別試験の出題範囲に、数Ⅲを必須で含む場合	1	1冊	
	数学Y 数学Ⅰ、数学Ⅱ、 数学A、[数学B、数学C]				
	数学Z 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B、数学C				
英語	英語	リスニングの出題形式と実施について ★選択問題として出題しています。大問1(リスニング)、大問2(会話表現)です。配点は30点です。いずれか一方の選択となりますので、実施時にご注意ください。(両方解答している場合は、得点の高い方で成績集計をします。) ★学校単位・クラス単位でご選択ください。選択を揃えるため、学校、クラスへのご周知をお願いします。 ★リスニングテストを選択する場合は、英語の試験時間の最初に実施してください。所要時間は約15分です。	1	1冊	「紙サービス」の場合: 1冊 「Webサービス」の場合: 生徒はマナビジョン、先生はハイスクールオンラインで解答解説をご確認ください。
地歴、 公民	地理総合、地理探究 歴史総合、日本史探究 歴史総合、世界史探究 公共、倫理 公共、政治・経済 地理総合／歴史総合／公共	志望校の入試で必要な科目を受験してください。 ★志望校の指定科目数以上を受験の場合は、まず、志望校の入試科目を採用し、それ以外は高得点科目で志望校判定を行います。 ★志望校の指定科目以外を受験した場合も志望校判定を行います。 ★地歴、公民を2つ以上受験する場合、同一名称科目の組み合わせでは受験することはできません。ただし、「歴史総合、日本史探究」と「歴史総合、世界史探究」の組み合わせは受験できます。 ★受験科目数については、下記の「●「地歴、公民」、「理科」で複数科目を受験する場合の注意点」をご参照ください。	3	地歴冊子 公民冊子 「地理総合／ 歴史総合／ 公共」冊子 計3冊	
理科	物理基礎／化学基礎／ 生物基礎／地学基礎 物理 化学 生物 地学	志望校の入試で必要な科目を受験してください。 ★志望校の指定科目数以上を受験の場合は、まず、志望校の入試科目を採用し、それ以外は高得点科目で志望校判定を行います。 ★志望校の指定科目以外を受験した場合も志望校判定を行います。ただし、理科(専門)が必要な場合に、理科(基礎)のみを受験の場合は参考判定となります。 ★「物理基礎」と「物理」のように、同一名称科目の組み合わせでの受験も可能です。ただし、重複不可の募集単位の場合は参考判定となります。 ★個別試験で課される科目が、「物理基礎と物理」のように専門科目に基礎科目を加えた出題範囲となっている場合、専門科目のみ1科目を受験していただければ志望校判定を行います。 ★受験科目数については、下記の「●「地歴、公民」、「理科」で複数科目を受験する場合の注意点」をご参照ください。	3	理科(基礎) 冊子 理科(専門) 冊子 計2冊	

●「地歴、公民」、「理科」で複数科目を受験する場合の注意点【各教科最大3つまで受験可能、4つ以上は受験不可(4つ目以降は集計、判定に使用しません。)]

○地歴、公民について

- ・「地理総合／歴史総合／公共」から2つと「地理総合／歴史総合／公共」以外の科目を2つ受験した場合、合計4つとなるため受験不可です。
(例)「地理総合」「公共」「歴史総合、日本史探究」「歴史総合、世界史探究」を受験…4つとカウントされるため不可
- ・4つ以上を受験の場合は、高得点採用を行います。

○理科について

- ・理科(基礎)2つと理科(専門)2つの受験は、合計4つとなるため受験不可です。
(例)「物理基礎」「化学基礎」「物理」「化学」を受験…4つとカウントされるため不可
- ・4つ以上を受験の場合は、高得点採用を行います。

志望校判定と集計方法

志望校判定と集計方法

1. 志望校判定 ※志望校記入数は8校までです。

【志望校判定に必要な教科・科目】

- ・志望校の入試教科・科目を受験してください。
- ・今回の集計・判定は、国公立大で2026年度入試の科目・配点が判明している場合はその科目・配点で集計します。それ以外は、原則として2025年度入試の科目・配点をもとに集計を行います。
- ・詳細は、【受験科目の選び方】のページをご確認ください。

【参考判定】

入試に必要な教科・科目や科目数を受験していない場合は、「参考判定」または「判定不可(N判定)」となる場合があります。
(例) 理科2科目必須で1科目のみ受験の場合など。

【今回の志望校判定】

国公立大 共通テスト利用 私立大・短大	【2次試験・一般選抜判定】 志望校が課す個別試験(2次試験)の出題教科・科目、配点で集計し、判定を算出します。
	【ドッキング判定】 「大学入学共通テスト模試・6月」を受験した場合に、当模試の成績を個別試験、共通テスト模試の成績を共通テストとみなして集計し、判定を算出します。個別試験で学科試験を課さない大学・短大の場合は、一部を除いて共通テスト模試の共通テスト判定と同じになります。 「大学入学共通テスト模試・6月」とのドッキング判定は、いずれか一方の模試が参考判定の場合は判定不可(N判定)となりますのでご注意ください。
私立大、短大、 その他(一般選抜)	【2次試験・一般選抜判定】 志望校が課す入試の出題教科・科目、配点で集計し、判定を算出します。

※今回の模試では「情報」の出題はありません。「情報」を出題する志望校については、「情報」を除いた教科・科目の配点合計点を満点として集計し、判定を算出します。

【共通テスト参考判定】について(記述回のみ)

国公立大や共通テスト利用私立大・短大で個別試験(2次試験)で学科試験を課さない募集単位を志望校にし、ドッキング判定対象のマーク回の受験がない場合、記述回の成績を共通テストで必要な入試教科・科目とみなして判定を算出します。記述回では「情報」の出題がないため、「情報」を課す募集単位では「情報」を除いた教科・科目で判定を算出します。

2. 成績集計【主な成績集計のコース】

文理	集計コース	教科(教科名の後の数字は必要科目数)	満点
文系	5-8文系	国語, 数学, 英語, 地歴・公民2, 理科(基礎2または専門1)	900
	国数英文系	国語, 数学, 英語	600
	国英歴史文系	国語, 英語, 地歴・公民2	600
理系	5-7理系	国語, 数学, 英語, 地歴・公民1, 理科(専門2または基礎2専門1)	900
	国数英理系	国語, 数学, 英語	600
	数英理理系	数学, 英語, 理科(専門2または基礎2専門1)	600

【成績集計(集計コース)における偏差値の算出】

各集計コースの偏差値は、「各科目の偏差値を平均」して算出すると、合計点で算出した偏差値・順位と矛盾が生じる場合があるため、大学入試の可否判定で一般的に用いられる「各集計コースの科目合計点」により算出しています。

【国語】

現古漢コース、現古コース選択者で、現代文のみを受験した場合、現代文の得点を200点満点に換算せず、そのまま使用します。

【地歴、公民】

- ・「地理総合/歴史総合/公共」を1つ受験した場合は集計コースには採用しません。3つ受験している場合は高得点の2つを採用します。
- ・各集計コースの「地歴、公民」の満点に受験内容が満たない場合、得点を配点に応じて換算し、集計します。
- ・必要な科目数を超えて受験している場合は、受験カードの選択科目、または高得点科目を採用して集計します。

【理科】

- ・理科を複数科目受験した場合は理科(専門)を優先して集計します。ただし、「5-8文系」の集計では、理科(基礎)を2つ、理科(専門)を1つ受験した場合のみ、理科(基礎)を優先して集計します。
- ・各集計コースの理科の満点に受験内容が満たない場合、得点を配点に応じて換算し、集計します。